



お知らせ

令和3年7月2日

大分県
姫島村
株式会社ラック

姫島 IT アイランド構想推進のためのスマートシティプラットフォームの 実証実験及び検証に関する三者協定締結式について

大分県（知事 広瀬 勝貞）、姫島村（村長 藤本 昭夫）及び株式会社ラック（代表取締役社長 西本 逸郎）は、相互に連携を強化し、各種センサーにより得られたデータを活用し、姫島村における様々な地域課題の解決の検討や、当該データを関係自治体や民間企業等が地域社会の活性化やサービス向上に活用するスマートシティプラットフォームの実証実験を実施することを目的として、三者協定（以下、協定）を、令和3年7月2日（金）に締結いたしました。

1. 協定の名称

「姫島 IT アイランド構想推進のためのスマートシティプラットフォームの実証実験及び検証に関する三者協定」

2. 協定締結日

令和3年7月2日（金）

3. 協定締結の目的

- ・ 姫島村における地域課題の解決
- ・ 取得データを地域社会の活性化やサービス向上に活用するスマートシティプラットフォームの実証実験の実施・検証

4. 協定の概要

姫島村が大分県と取り組む「姫島 IT アイランド構想」は、IT 企業の誘致や IT 人材を呼び込むことで「離島×IT」の可能性を広げる取り組みと、未来の IT 人材の育成・創出・定着を目指す取り組みです。また、株式会社ラックの「town 構想」は、サイバーセキュリティで培った知見をデジタルの利活用を通して安全・安心な未来の都市づくりに活かすための取り組みです。

本プロジェクトにおける様々な地域課題の解決を図るため、各種センサーを島内に設置するとともに、当該データを関係自治体や民間企業が、地域社会の活性化やサービス向上に活用するプラットフォームの

実証実験、小規模自治体でのスマートシティ化モデル策定のための検証を行います。

(株式会社ラックについて) <http://www.lac.co.jp/>

株式会社ラックは、1986年にシステム開発事業で創業、多くの実績を誇る「金融系の基盤システム開発」をはじめ、社会の基盤システムの開発を行っています。1995年には、いち早く情報セキュリティ事業を開始し、現在ではサイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーとして、官公庁・企業・団体等のお客様に業界屈指のセキュリティ技術を駆使した、先端のITトータルソリューションサービスを提供しています。

株式会社ラックの新規事業開発部が2020年7月3日に発表したデジタルの安全な利活用推進を進める「town構想」の一環として、スマートシティにおける各種先端サービスの安心・安全を担うセキュリティプラットフォームの実証実験を推進し、各自治体におけるスマートシティの推進に貢献しています。

(参考) スマートシティセキュリティ (<https://www.lac.co.jp/consulting/smartcity.html>)

5. 連携事項

スマートシティプラットフォームの実証実験及び検証

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
大分県商工観光労働部DX推進課 武藤、池田 TEL：097-506-2475（直通）
姫島村水産・観光商工課 小島、桜井 TEL：0978-87-2279（直通）
株式会社ラック 飯村、田町 pr@lac.co.jp